

## 『帝国信用録』第1版復刻版刊行に寄せて

帝国データバンク史料館 福田 美波

このたび、クロスカルチャー出版より『明治大正期 帝国信用録』第Ⅲ期 第2回配本 明治41年／大正4年が刊行されました。いずれも当館の所蔵する第1版と第8版を底本としています。本書の刊行により、多くの皆様に所蔵資料をご活用いただけることは、当館にとってこの上ない喜びです。

昨年（2023年6月）の第1回配本では、第2版と第5版の復刻が収録されました。今回の配本では、本来第1回に収録されるべき第1版を収録しています。配本の順番が前後した理由について、この場をお借りして若干の補足をいたします。

明治から大正初期にかけて現存する『帝国信用録』は極めて少なく、第1版は長らく幻の存在でした。クロスカルチャー出版から復刻版刊行のお話をいただいた段階では、まだ第1版は所蔵しておらず、第2版から復刻を始めることになりました。第1回刊行を目前にした6月初旬、偶然にも古書市場で第1版を発見し、入手する機会に恵まれました。状態は極めて良く、符号手引も付属した完全無欠の、まさに奇跡の発見でした。残念ながら第1回の配本には間に合いませんでしたが、復刻版刊行のタイミングで発見できた意義は大きく、今回の配本に念願の第1版が加わり、復刻版シリーズはより充実したものとなりました。

第1版には、1906（明治39）年4月から1908年2月までの調査報告書に基づいた、およそ6,500人の商工業者の信用情報が収録されています。刊行時、帝国興信所には東京本社と5ヶ所の事業所（横浜、大阪、福岡、門司、長崎）があり、収録の大部分は東京府下の商工業者（およそ5,000人）です。その他、東京府の銀行209行と全国の保険会社42社も収録しています。

本書を、明治年間の商工業者の分布や信用程度を知る資料として、多方面の調査・研究にご活用いただけましたら幸いです。

